

## 海にぎぶん 気合十分

加茂水産高 実習安全祈願の「水開き」

鶴岡

鶴岡市の加茂水産高（小山和彦校長）の恒例行事「水開き」が、1日、同校近くの加茂レイン

ンビーチで行われた。1、

晴天に恵まれ、午前9時の気温は16・8度、水温は平年



海での実習の安全を祈願して行われた「水開き」  
＝鶴岡市・加茂レインビーチ

よりやや低い13度だった。生徒たちは「わっしょい」のかけ声で準備体操をした後、海に入った。最初は「冷たい」などと話していたが、次第に水温に慣れた様子で、勢いよく水を掛け合ったり気持ちよさそうに泳いだりし、約50分を渡りきった。水産科1年生

井陽翔さん（15）は「想像していたよりも寒かったけど、実習に向けて気合が入った」と話した。

水開きは同校が創立された1946（昭和21）年から続いている。11月1日には「水納め」を行う。

（棚井さとみ）



動画はここから

## 県外企業と連携しマガキ養殖

鶴岡市の加茂水産高（小山和彦校長）の生徒が、同市加茂でマガキ養殖の実証事業に取り組んでいる。県外の関連企業と連携したプロジェクトで、5月には海中に千個の「種苗（幼生）」を設置。生育時の海洋データを解析しながら新たな漁業の可能性を探る。



マガキの生育状況を確認する生徒たち＝鶴岡市・加茂港

# 加茂水産高が挑戦中

本県では夏の味覚としてイワガキが知られている一方、冬に荒れる日本海側の環境などを背景に、マガキの養殖は難しいとされてきたという。同校は養殖の知見を持つ企業「リブル」（徳島県）とつながりを持ち、昨年度に養殖の実証を始めた。

## 海中に種苗1000個設置 丹念にデータを解析

に細長い1センチほどの種苗を使用。人工的に生み出した種苗を中に入れ、海中に沈めて育てる。欧米やオーストラリアで採用されている方法で、ノウハワを持つリブルは年中の出荷を可能にしている。昨年度は夏の海水温の影響などを受けたため、9割ほどが死滅した。本年度は種苗を入れる時期を夏から5月に早めたほか、設置場

所は加茂レインボービーチに加え、県漁業協同組合の許可を得て加茂港内を増やした。沖合に近い港内は餌となるプランクトンが多いという。

12日には3年生3人が、リブルのスマート養殖推進事業室長の岡田翔太郎さん（34）の助言を受けて生育状況を確認した。籠一つ当たりのマガキの重さは当初60グラムだったが、ビーチ内で300グラム、港内で500グラムに増量した。今後は生育環境を整えるために大きなこと

に選別し、籠を入れ替える作業などを実施する。

現在には1個当たり約1センチで、一般的には6カ月から1年で出荷に適した50センチ前後に成長する。専用機器で日々の塩分濃度や海水温などのデータを蓄積。成長との関係を分析し、養殖が可能かを見定める。伊藤笑太郎さん（18）は「加茂でうまくいけば、他地域にも広げることができる。小まめに調査し、モデルをつくりたい」と話していた。（相原健佑）

「キジクル」に  
A-1編集動画

## 海に青春

加茂水産高伝統  
カッターレース

鶴岡市の加茂水産高（小山和彦校長）の伝統行事「カッターレース大会」が4日、同校近くの加茂港で開かれた。生徒たちが手こぎボート「カッター」に乗り、声を合わせて力いっぱいオールをこいだ。

学年単位の3チームが出場した。1～3年がそれぞれ14人を選抜し、全長約9㍎、幅約2・5㍎のカッターに乗船。往復600㍎のコースで総当たりのマッチレースを行い、各チームが2回の合計タイムで競った。

生徒たちは「いーち、に」と声を上げてオールを運び、教員や保護者の声援を力に熱戦を繰り広げた。水産科3年の齋藤龍希さん（17）は「オールをこぐのは大変だったけど、チームワークの良さを発揮できた」と話した。

同校の創立記念日（7月5日）に合わせた記念行事で、1973（昭和48）年に始まった。

（真壁慶次）



動画はこちら

力いっぱいオールをこぐ生徒たち  
―鶴岡市・加茂港―

## 絆の遠泳 わっしょい

鶴岡・加茂水産高

鶴岡市の加茂水産高（小  
山和彦校長）で25日、恒例  
行事の遠泳が行われ、1年  
生16人がお互いに声をかけ  
合いながらゴールを目指し  
た。

同校付近の加茂港から、  
同市の湯野浜海水浴場まで  
約3キロ泳いだ。生徒らは快



励まし合いながら約3キロの遠  
泳に挑んだ生徒たち

― 鶴岡市・加茂港

晴の下、砂浜で準備体操と  
点呼した後、2列の隊列を  
組んで出発。「わっしょい、  
わっしょい」のかけ声で鼓  
舞し合いながら、ペースを  
崩さないよう、まとまって  
進んだ。約2時間かけて全  
員でゴールし、見学の生徒  
や教員らは温かい拍手で迎  
えた。

海に親しみ、心身を鍛え  
る目的で同校が毎年実施し  
ている。五十嵐花夏さん  
（15）は「泳力には自信がな  
かったけど、皆と励まし合  
ったので元気に泳ぎ切れ  
た」と話した。（沓沢杏佳）

